仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりけれ
ば、心うく①覚えて、あるとき思ひ立ちて、ただ一人、
徒歩(ア)より詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、かばか
りと心得て帰りにけり。

さて、かたへ(イ)の人にあひて、「年ごろ(ウ)思ひつること、
果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて、
②尊くこそおはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登り
しは、何事かありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこ
そ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。

少しのことにも、先達(エ)は③あらまほしきことなり。